

(緊急抗議談話)

大阪府知事 日本維新の会幹事長 松井一郎 殿
大阪市長 日本維新の会共同代表 橋下徹 殿

八尾空港へのオスプレイ訓練受け入れ表明に強く抗議する

日本維新の会幹事長・松井一郎大阪府知事と同会共同代表橋下徹大阪市長は、6月2日と3日の会見で、沖縄県宜野湾市の米軍普天間基地に配備されている垂直離着陸輸送機 MV22 オスプレイ機の訓練の一部を、大阪府八尾市の八尾空港で受け入れる意向を表明した。

2012年6月モロッコ、2012年6月フロリダ州での墜落など事故が相次ぎ、「未亡人製造機」とも揶揄される MV22 オスプレイ機は、昨年12月から沖縄県に配備され、その後全国各地で訓練が始まっているが、日米合意の飛行ルートが守られず、更には、騒音防止協定で定める運用時間を大きく超えるなどの運用規定違反を繰り返している。

飛行訓練が強行されている普天間基地周辺では、一つ間違えれば住民への重大な被害は免れない。オスプレイの訓練が人口密集地の大阪府で開始されれば、騒音、低周波公害、ガス被害など新たに多くの住民の生活と命を危険にさらすことになる。それは少しも沖縄基地負担の軽減にはならないし、危険性を八尾市周辺、大阪府下に拡散するだけである。

この間、大阪府保険医協会は、沖縄へのオスプレイ配備反対や米軍の女性集団暴行等に強く抗議し、基地の無条件返還を求めてきた。

私たちは八尾空港のオスプレイ訓練受け入れ表明に強く抗議するとともに、改めて米軍基地の無条件撤去を求めるものである。

2013年6月7日
大阪府保険医協会
理事長 高本 英司